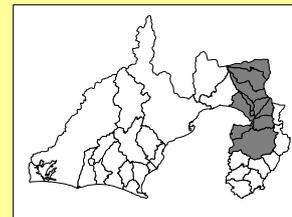


1.1 駿東田方保健医療圏肝炎対策推進計画

駿東田方保健医療圏 地域特性（平成 25 年 10 月 1 日現在）

- 総人口：663,128 人
（男性：327,965 人 女性：335,163 人）
- 高齢化率：25.4% 出生率：8.2（人口千対）
- 面積：1,277.58km²（県面積の約 16.4%）
- 管内の特徴

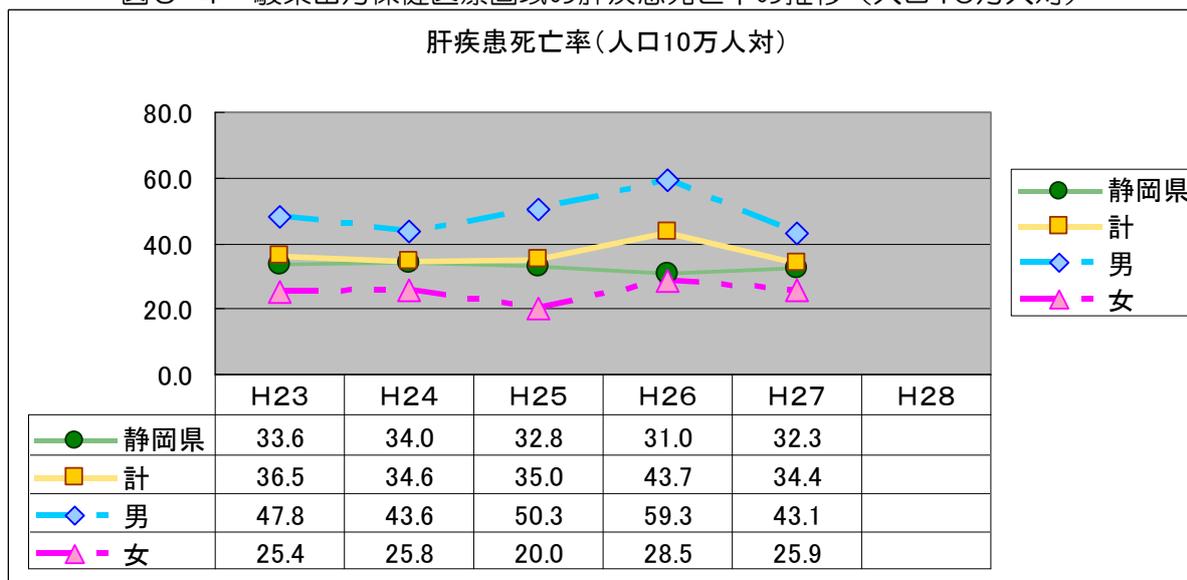


駿東田方地域 6 市 4 町で構成され、東西南北に箱根山麓、愛鷹山麓、富士山、伊豆半島が広がり、柿田川湧水や温泉、御殿場高原などの豊かな自然を生かした観光業が盛んな地域です。国道 1 号線、国道 246 号線、東駿河湾環状道路、JR 東海道線など主要交通網が発達し、首都圏から近距離であるという好立地を生かし、企業誘致による製造業、健康医療関連産業や研究開発機関が集積しています。

ア 現状と課題

- 当圏域の肝疾患死亡率は県平均よりやや高い状況から同水準にあります。
- 圏域の専門治療を担う医療機関として 4 病院を「地域肝疾患診療連携拠点病院」に、かかりつけ医や地域肝疾患診療連携拠点病院の診療支援を担う医療機関として「静岡県肝疾患診療連携拠点病院」に 1 病院を指定しています。また、拠点病院等と連携して肝疾患の診療等を行う県登録の「肝疾患かかりつけ医」が 64 施設あります。
- 自覚症状の無い感染者を発見し、早期に適切な治療に結びつけるため、引き続き肝炎ウイルス検査の受検を勧奨する必要があります。
- 検査陽性者には専門医療機関を紹介し、受診勧奨をする必要があります。

図 5-4 駿東田方保健医療圏域の肝疾患死亡率の推移（人口 10 万人対）



出典：平成 25 年人口動態調査（厚生労働省）のうち、「O1400 ウイルス肝炎」、「O2106 肝及び肝内胆管の悪性新生物」、「11301 肝硬変（アルコール性を除く）」を掲出
死亡率は平成 25 年 10 月の推計人口から 10 万人あたりの死亡率（死亡者数）を算出

イ 圏域の取組

① 肝炎に関する正しい知識の普及と新規感染予防の推進

- 一般県民向けの予防医学講演会を実施します。
- 関連する会議や講習会等で講話を実施します。
- 新聞記事や健康福祉センターだより等に肝炎に関する普及啓発記事を掲載します。
- 乳幼児に対する B 型肝炎ウイルス予防接種の接種率向上のため、市町母子保健関係者に情報提供します。
- 福祉施設職員や企業健康管理担当者に対して予防医学講演会を実施します。

② 肝炎ウイルス検査の受検勧奨と検査陽性者に対する受診勧奨

- 市町広報及び健康福祉センターホームページに保健所の肝炎ウイルス検査日を引き続き掲載し、周知します。
- 日本肝炎デー・肝臓週間にあわせ、街頭キャンペーン等により肝炎ウイルス検査受検の啓発活動を行います。
- 肝疾患診療連携拠点病院の肝炎医療コーディネーターと連携を密にし、肝炎ウイルス検査陽性者が受診しやすい体制をつくります。
- 保健所における肝炎ウイルス検査陽性者に対し、適切な医療につながるよう、専門医療機関への紹介による受診勧奨を行います。
- 市町の健康増進事業における肝炎ウイルス検査陽性者に対して、受診勧奨が確実に行われるよう、市町に働きかけをします。
- 肝炎ウイルス検査陽性者等の重症化予防を図るため定期受診等にかかる費用を助成します
- 職域における受診勧奨をすすめるため、地域・職域連携推進協議会等により関係者に働きかけます。

③ 肝炎医療を提供する体制の確保

- 静岡県肝疾患診療連携拠点病院や関係機関と連携し、医療従事者の肝炎に対する知識の向上を図ります。
- 肝疾患かかりつけ医研修会の受講率向上を目指し、医療機関に周知します。

④ 肝炎患者等及びその家族に対する支援充実

- 新聞記事や健康福祉センターだより等に肝炎に関する記事を掲載します。
- 患者や家族を対象に医療相談・交流会を開催します。
- 伊豆肝友会活動に協力します
- 肝炎治療費助成申請者等から相談があった際に、適切な情報提供を行います。
- 患者の肝炎治療後の継続的、定期的検査の受検、健康管理や肝がん早期発見に役立つ肝臓病手帳の活用を進めます。